

(様式6)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 第三者評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	2871700460		
法人名	エム・エフ商事株式会社		
事業所名	グループホーム ふれあい		
所在地	兵庫県南あわじ市広田広田1 2 7 (電話)0799-45-0303		
評価機関名	株式会社H.R.コーポレーション		
所在地	兵庫県西宮市甲陽園本庄町6番8-102号		
訪問調査日	平成20年11月15日	評価確定日	平成21年2月24日

【情報提供票より】 (20年10月31日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年8月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤6人, 非常勤11人, 常勤換算13人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋 造り		
	2 階建ての	1 ~ 2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	33,000 ~ 39,000 円	その他の経費(月額)	12,900 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	100 円
	または1日当たり		円	

(4) 利用者の概要 (10月31日現在)

利用者人数	18 名	男性	6 名	女性	12 名
要介護1	6	要介護2	6		
要介護3	4	要介護4			
要介護5	1	要支援2	1		
年齢	平均 86 歳	最低	74 歳	最高	103 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	奥田歯科・翠鳳第一病院
---------	-------------

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

田畑が見渡せる大きな窓から自然光が差し込み、清潔感が感じられる共用空間は壁面の装飾も過度にならず、家庭的な雰囲気を損なわないように配慮されている。運営推進会議から得られた周辺の行事へ積極的に参加し、利用者・事業所が地域から孤立することない生活の継続に取り組み、地域からの理解が深まるように努力している。日々の生活の中で、利用者の得意であるという気持ちや思いを大切に考え、利用者一人ひとりのできることを把握し職員と共に一緒にいき、達成感・満足感が得られるよう支援している。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目: 第三者4)
	<p>去年の評価結果を基に研修計画の立案に向けて取り組んでいる。評価結果は全職員に伝え、職員の意見を聞きながら改善へ向けての検討している。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目: 第三者4)</p> <p>職員の意見を聞きながら、計画作成者と管理者と共に作成している。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目: 第三者4, 5, 6)</p> <p>利用者代表・家族代表・地域住民代表・民生委員・市職員・包括・知見を有するものが参加の下、2ヶ月に1回運営推進会議を実施している。運営推進会議開催時にグループホームの現状を伝え、助言を受けるなど意見交換をしている。グループホーム行事・利用者の状況を報告・地域に向けての要望を行い、委員から提案・地域の行事の情報提供を受けている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目: 第三者7, 8)</p> <p>家族来訪時、声かけを行うと共に意見が言い易い雰囲気を作り、家族からの些細な言葉の中の意見や要望を聞き逃さないように取り組み、家族からの意見や要望を職員間で共有しサービスに活かすようにしている。更に、家族からの細かな情報が管理者に伝わるようにメモを作成し共有できるように取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目: 第三者3)</p> <p>運営推進会議を生かして地域行事の情報を得て、文化展(菊の展示会、作品展示)など、利用者と共に参加している。また、社協の行事には積極的に参加している。デイケア・デイサービスの利用者には、グループホーム行事への参加の呼びかけをし、交流の機会を持っている。</p>

2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「地域密着型サービス」としての役割を理解し、利用者が住み慣れた地域での生活の継続を支援する独自の理念を誰もが目に付くところに掲示している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者・職員は近隣の方・出入りの業者の方が来訪しやすい雰囲気作りに配慮している。管理者は職員に対して、日々の業務を通じて理念について話し、地域密着型としての役割の理解を促している。更に今後も理念に基づいたケアの実践を目指している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	運営推進会議を生かして地域行事の情報を得て、文化展（菊の展示会、作品展示）など、利用者と共に参加している。また、社協の行事には積極的に参加している。デイケア・デイサービスの利用者には、グループホーム行事への参加の呼びかけをし、交流の機会を持っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	去年の評価結果を基に研修計画の立案に向けて取り組んでいる。評価結果は全職員に伝え、職員の意見を聞きながら改善へ向けての検討している。今年度の自己評価は計画作成者・管理者と共に自己評価を作成している。		評価結果を参考に、具体的な改善計画を立案し計画的にサービスの質向上に活かされると共に、来年度の自己評価の作成については、全職員での取り組みを期待する。

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>利用者代表・家族代表・地域住民代表・民生委員・市職員・包括・知見を有するものが参加の下、2ヶ月に1回運営推進会議を実施している。グループホーム行事・利用者の状況を報告・地域に向けての要望を行い、委員から提案・地域の行事の情報提供を受けている。今後も地域交流がより深まるように運営推進会議を活かしていきたいと考えている。</p>		
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議開催時にグループホームの現状を伝え、助言を受けるなど意見交換をしている。また、電話で連絡を取り、情報交換を行っている。</p>		<p>市町村担当者へのグループホームからの積極的な情報提供と共有は、グループホームからの働きかけが重要である事から、ホームの便りなどを作成し、市町村に情報提供が定期的に来るような取り組みを期待する。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月利用者別に、お便りを作成し行事の報告や健康状態・生活状況など、近況報告を行っている。利用料の支払い時に家族が来訪されるため、職員より直接近況の報告を行っている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族来訪時、声かけを行うと共に意見が言い易い雰囲気を作り、家族からの些細な言葉の中の意見や要望を聞き逃さないように取り組み、家族からの意見や要望を職員間で共有しサービスに活かすようにしている。更に、家族からの細かな情報が管理者に伝わるようにメモを作成し共有できるように取り組んでいる。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項 目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>馴染みの関係の重要性については十分理解しており、半年に1回程度利用者の状況、職員の状況を配慮して移動を検討するが、職員はフロアーを半固定にしている。職員の移動・退職は、状況を見ながら家族に報告するようにしている。</p>		
5.人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>利用者の状況や職員の希望を聞き、計画的な研修実施を検討し、内容の充実を図り、ミーティングの中で研修の機会を定期的に取り入れている。現在、計画的・段階的な研修実施を検討すると共に、外部研修への参加を予定している。</p>		<p>利用者・家族へのサービスの質向上のためにも職員経験や習熟度にあわせた段階的・計画的な学びの機会の確保が重要である為、現在検討中の研修計画・外部研修への参加を実現されることを期待する。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市の連絡会は、参加できなかったが、今年度始めて数市のグループホームの集まり（懇親会）があり出席の予定である。数市のグループホームの協会は淡路であるため近隣の集まりでまとまって協会に参加していきたいと考えている。協会では研修が年1回あり、管理者やケアマネージャーなどの参加を実施している。今後は研修で職員の参加が出来ればよいと考えている。</p>		<p>管理者・職員が地域の同業者との交流機会を持つことで日頃の仕事の悩みの解消や連携をスムーズにしサービスの質向上に向けての取り組みに活かすために大切である為、管理者職員共に積極的に交流が行われることを期待する。</p>
・安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用相談があれば、馴染みの関係が築け、安心してサービスを利用していただくために、家族・本人が見学に来られるように働きかけている。見学が難しい利用予定者に対しても電話で連絡を密に取るようにし、本人が納得した上でサービス開始に至るように配慮している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者と職員は家族的にかかわり共に過ごせるように努めている。年々ADLの低下があり、動けることが少なくなっているが、細かな経験や知恵を職員が教わることもあり、日々の生活の中で出来ることの発見もある。管理者は利用者のペースに合わせた関わりを持つように職員に話している。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活で利用者の行動や会話・表情に注意をはらい、また家族との面談の中から新たな情報を把握して、利用者の希望に沿った暮らしが出来るよう支援している。自己表現が困難な利用者については、表情から思いを把握するように努力している。		
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入所前より基本情報シートで情報収集し、システムの中のアセスメントシートでアセスメントを行い初期計画を立て、具体的な個別計画作成している。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>入所後1ヶ月で家族・職員と共に見直しを行い、1ヶ月に1回ミーティングの中で利用者の状況の見直しを行っているが、記録として残っていない。現在見直しの結果を記載することを検討している。</p>		<p>利用者の状況の変化、家族の要望・希望の変化等現状を職員間で把握・共有し、状況に即した計画を記録として作成されることが望まれる。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者の希望により個別の買物支援、墓参り、自宅への帰宅等、柔軟な対応を行なっている。</p>		
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>隣接している病院へ受診する他、専門医への受診を支援している。希望病院への受診は家族が同行しているが、手紙で医療側に近況を情報提供できるようにし、かかりつけ医との関係づくりに取り組んでいる。3ヶ月に1回は管理者が同行受診し情報交換・情報共有を行っている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>終末期は、受けておらず、重度化したときには、スムーズに医療や他施設に移行できるように説明を行い理解してもらえるように配慮している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>親しみやすい地元の言葉で利用者に合わせた言葉かけを行っている。管理者は日々関わる中で気がついた時に注意を促し、事あるごとに尊厳・プライバシーに配慮したかわりが出るように管理者から職員へ話をしている。</p>		<p>内部研修において利用者のプライバシー保護・個人情報保護法の理解を図り、秘密保持の徹底が図れる取り組みを期待する。</p>
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>大まかな1日の流れはあるが、利用者一人ひとりの状態・能力・希望・に合わせた生活ができるように支援している。季節に合わせた飾り付けや日々必要な生活行動は、強制しないよう自然に利用者が動けるように支援している。</p>		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>メニューは、病院の栄養士がカロリー計算しているものを食材提供してもらっているが、利用者の嗜好に合わせて代替食を提供できるように調理方法や味付けを工夫し食事が楽しいものになるように工夫している。嚥下能力の低下がある利用者に合わせて食前に嚥下体操を実施している。利用者の気分や力量に合わせて準備や味見・後片付けを職員と共にやっている。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>希望を尊重して入浴してもらえるように支援しているが、午前中に受診の関係で入浴する方が多くなっている。部分的な介助で入浴される方が多く、個々の利用者に合わせた支援を行っている。身体機能の低下や認知症の進行などにより羞恥心・恐怖心・負担感などへ配慮した入浴支援は今後の課題と捉え取り組んでいくことを考えている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項 目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の得意であるという気持ちや思いを大切に考え、利用者一人ひとりのできることを把握し職員と共に一緒に行い、達成感・満足感が得られるよう支援している。外出も希望や季節に合わせて外出できるよう計画を立て行っている。年1回は外食行事を行っているが、今後は回数が増やせるように検討している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の気分や希望にあわせた外出支援を心がけているが、外出希望が少なく、午後に外出を生活リズムの流れとして取り入れるようにしている。散歩が出来ない、されない方に関しても一日一回は玄関まで出てきてもらえるよう声かけし、外気浴・散歩を実施し体内時計が狂わないよう又、昼夜逆転しないように配慮した支援を行っている。近隣の自然を活かした五感刺激を心がけている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関と1階フロアは日中開錠できているが、2階は利用者の状況により開錠できる時間帯をみて出来る限り開錠するようにしている。開錠によるリスクについては、家族にも説明し理解と協力を得られるよう努力している。		施設玄関の施錠について当然であると捉えず、全職員で話し合い、安全性を確保しながらの鍵をかけないケアについて検討していくことを期待する。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	隣接する病院と協力して年2回避難訓練を実施している。		利用者の状況を踏まえた色々な場合を想定して、避難・誘導訓練の実施を期待する。

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひとり の状態や力、習慣に応じた支援をしてい る</p>	<p>病院の栄養師がカロリー計算されたメニュー でカロリー不足や栄養の偏りが無い食事提供 を行っている。高血圧・心臓食の提供に関し ては、隣接の病院に副食を依頼し、状態が 改善された利用者も見られる。チェック表で 水分・食分量チェックを行い、身体状況を把 握している。</p>		<p>高齢者は脱水の発生も高くなるため、食事 量や水分摂取量を把握し推移を見ながら予 防的な関わりを期待する。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台 所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者 にとって不快な音や光がないように配慮 し、生活感や季節感を採り入れて、居心 地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間は、田畑が見渡せる大きな窓から自 然光が差し込み明るく、臭気もなく清潔感 がある。壁面の装飾も過度にならず、家庭 的な雰囲気を感じられるように配慮されて いる。広い玄関にはソファ・ベンチ・椅子 を置き気分に応じてくつろげるような工 夫が見られる。利用者と職員の会話や食 事作りの匂いが生活感を感じさせる。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者 や家族と相談しながら、使い慣れたもの や好みのものを活かして、居心地よく 過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族に利用者の使い慣れた日用品や小物・衣 類の持込を働きかけ、居室で利用者が不 安なく過ごせるように支援している。居室 は、利用者個々馴染みの物や趣味が感じ られる物が置かれ、その人らしく過ご せる居室環境が整えられており、自宅 との違和感の少ない雰囲気づくりに への細やかな配慮が見られる。</p>		

 は、重点項目。